

青木村子どもはつらつプラン

「心豊かでたくましい青木村の子どもの育成—今こそ子どもに社会力を—」

趣旨

家庭・地域・学校・行政が連携し、子どもたちが豊かな自然の中で、多くの人に触れる場と機会を設定し子どもたちの社会力を育て、心豊かでたくましい青木村の子どもを育成する。

目標

「一人の子どもを育てるには村全員が関わらなければならない」という意識の基に、多くの人が子どもに関わり、子どもたちの「社会力」を育てる。
心豊かで、たくましい青木村っ子の育成。青木村に誇りの持てる子どもを育てる。

プランの主な柱

①はつらつネットワーク結成・研修、②地域学習プログラムの作成・実践、③成果の普及啓発

青木村子どもはつらつプラン(地域の子どものみを地域で育てる)

■ネットワークの
研修・情報交換・
交流・養成

■共通目標「社会力育成」・ネットワークの形成

- ・「はつらつネットワーク通信」で活動を紹介(コーディネーター)
- ・互いの活動を紹介・参加、講演会、交流会など

■地域学習プロ
グラムの作成・
実践

○各団体がプログラムを公開し、互いに連携する。
○学校の職員、関係者と話し合いの上、フィールドを共有したり、新しいプログラムを創造したり、村民が直接学校にかけ子どもたちと関わる機会を設ける。
○実際に子どもたちや教師が地域に出たり、地域住民が学校に出向き、教育に参加する。

■啓発普及
OPTA 総会、学級
PTA などの機会
での家庭への啓
発。
○ネットワーク
情報で村民への
啓発
○子育てフォー
ラムの開催

